



医療と介護「2つの柱」を深化させ いのちと人権、平和を守る運動を

全日本民医連第44回定期総会

全日本民医連第44回定期総会が、2月20日から22日の3日間、熊本市内で開催されました。1日目は熊本ホールを会場に、本会議と記念講演が行われました。肥田泰元全日本民医連会長が「民医連綱領改定から10年、改定に向かう歴史と綱領への想い」をテーマに記念講演をしました。2日目は13の分代会に分かれて、運動方針の討議がされました。全県連から参加した598人の代議員と理事により方針が決められ、全議案の承認と新役員が選出されました。みみはらからは役員、代議員など8人が参加しました。

「断らないERの実践」を報告

綱領改定後10年が経過し、20年代の課題を討議するということが、本総会のテーマの一つでした。安倍9条改憲阻止、核兵器廃絶、普天間基地撤去と辺野古新基地建設反対は引き続きたいたい続けます。それに、新たなキーワードとして、地球環境保全運動の強化、多様性と個人の尊厳を第一とした、国内外との共同の運動、



運動方針案の本会議討議で印象に残ったのは、栃木の野新聞「なぜ君は病に：社会的処方 医師たちの挑戦」特集記事の経緯です。医師会理事の開業医と、SDH（健康の社会的決定要因）研究会を開始。医師会長も呼んだところ、医師会のSDH部会に発展して、特集記事になったとのことでした。私も本会議で「耳原総合病院における断らないERの実践について」を報告しました。2日目の分代会では私は座長でした。発言の中で、外国人労働者や震災被災者の健康問題、まちづくりとアウトリーチ、中間管理職研修システムが印象に残りました。座長団会議では、出された意見を、運動方針に反映させてゆく作業を夜遅くまで行いました。「なんて真面目な組織なんだ」と半ば呆れながら思いました（私は翌日の分代会報告のため、さらに夜中の12時まで作業を行いました）。最終日には分代会報告と全体討論が行われ、理事会からいくつかの点について運動方針案の修正・補強の説明があり、圧倒的多数の賛成を持って方針採択がなされました。

ぜひ運動方針を読んでいただきたいと思えます。

私は、初日の「フォーモア・ミナマタ第二次国賠訴訟原告団」の来賓あいさつに心打られました。「水俣病が故の、心が引き裂かれるような差別」の人生が語られるような署名用紙の後ろに存在する「虐げられた多数の人々」の姿に思いを馳せようと強く思いました。

理事長代行
（2020年2月24日現在）
田端 志郎

Rの実践について」を報告しました。

新型コロナウイルス 正しく感染予防

新型コロナウイルス感染症が広がり、発生人数や重症者の二ユースが、毎日テレビから流れてきます。小・中学校の休校やさまざまなイベントが中止されるなど、日常生活に大きな影響が出ています。

デマを含む多くの情報があふれていますが、厚生労働省や大阪府が発信する正しい情報に基づいて行動しましょう。

環境消毒

家族がよく触るものは定期的消毒

など etc...

換気

1~2時間毎に5~10分

対角線上の窓を2か所開けるのが効果的

家にあるものでつくれます

アルコール消毒液などの衛生用品が品薄...

5-10cc + 1ℓ = 消毒液

拭き掃除（環境消毒）

Q&A

Q 服は通常の洗濯でいい？
A OK!

Q 上着や靴も消毒必要？
A 過度には心配不要。自分しか使わない物を介して感染は考えにくい

Q ゴミの捨て方は？
A 密閉して捨てる

Q 次亜塩素酸は有効？
A 有効。中性洗剤でもOK!

咳エチケット

手を直接つかわない

ティッシュやハンカチを使う

肘の内側や袖口、鼻を覆う

鼻から頭まで覆う

かからない・うつさないために

目・鼻・口を触らない

不要な外出を控え、自宅過ごす

大勢が集まる場所に行かない

風通しの悪い空間には行かない（カラオケ・パチンコ・ライブハウス）

個人用のタオルを使う

部屋を分ける

向かい合って食事しない

手洗い・手指消毒 と タイミング ~こんな時に手指の消毒~

石けんと流水

手に汚れがなければアルコールでもOK

帰ったら

のまえ

のあと

広げないために複数の対策を組み合わせることが大切です（詳しくは総合病院のホームページをご覧ください）